

## 緑園国際交流トークサロン(2025年3月22日)

### まとめ

題: 『マレーシア 本当のアジア (Malaysia Truly Asia)』

講演: マレーシア大使館 一等書記官 ジェフリー・メイヤー

【はじめに】 マレーシアの首都はクアラルンプールです。首都の南に、プトラジャヤという行政都市があります。国土は 330,803 km<sup>2</sup>です。マレーシアは、マレーシア半島と、ボルネオ島にあるサバ州、サラワク州の 3 つの地域から構成されています。13 の州があります。

【マレーシア国旗】 マレーシアの国旗は、黄、青、白、赤の 4 色が使われており、それぞれに意味があります。

【首都】 マレーシアの首都クアラルンプールについてですが、「ムルデカ 118」という世界で 2 番目に高いビルも新たにできました。クアラルンプールは、1850 年代に中国人鉱山労働者がクラン川とゴンバック川の合流地点にやってきて、小さなスズ鉱山の集落ができたのが始まりです。

【王宮とプトラジャヤ】 クアラルンプールには、イスタナ・ネガラと呼ばれる王宮があります。国王・王妃夫妻が住んでいる場所です。プトラジャヤは、2000 年に中央省庁が移転してできた行政都市です。首相府では首相が働いています。

【民族と宗教】 マレーシアの民族ですが、人口の 57%はマレー系のブミプトラと呼ばれる人たちです。ブミプトラは、マレー語で「土地の子」という意味で、マレーシアの地に元々住んでいた人たちです。人口の 13%はマレー系以外のブミプトラで、サバ州やサラワク州の先住民族です。ブミプトラは合わせて人口の 70%を占めています。人口の 23%は中国系で、残り 7%はインド系の人たちです。

宗教については、人口の 63%がイスラム教徒、19%が仏教徒、9%がキリスト教徒、6%がヒンズー教徒です。

マレーシアの国語はマレー語です。英語も広く話されています。

国教はイスラム教ですが、他の宗教も平和的に信仰することができます。

【歴史】 マレーシアの歴史は、14 世紀、マラッカ王国の建国に始まります。マラッカは、東アジアと中東の接点という重要な立地にあり、貿易の中心地でした。中国やインド、中東から商人が船でやってきて、マラッカの地で交易を行いました。

その後ヨーロッパの国々の植民地支配を受けました。1824年にはイギリスの植民地支配がはじまりましたが、イギリスは「分割統治」政策を取りました。この政策の下、マレー系の人々は農業に従事し、中国系の人々はビジネスや鉱業、インド系の人々はプランテーションに従事することになり、マレー系、中国系、インド系のコミュニティが分離されました。

その後日本による占領を経て、1946年にイギリス領マラヤ連合ができました。

トゥンク・アブドゥル・ラーマンはマレーシアの初代首相を務めた人ですが、中国系のリーダーであるトゥン・サー・ヘンリーとインド系のリーダーであるトゥン・サンバンタンに呼びかけ、独立のためには異なる民族の結束が重要であることを話し合いました。そして3名はロンドンに渡り、イギリスと交渉を行った結果、1957年8月31日にイギリスからの独立を果たしました。1963年にボルネオ島のサバ・サラワクを編入し、マレーシアとなりました。

1957年8月31日に、トゥンク・アブドゥル・ラーマン初代首相が独立を宣言しましたが、現在世界で2番目に高いビルである「ムルデカ118」は、初代首相が右手を挙げて独立を宣言している様子を形どったデザインになっています。

**【祭り】** マレーシアは、多民族の国ですので、お祭りもたくさんあります。一番大きいものは、「ハリ・ラヤ・アイディル・フィットウリ」というお祭りで、イスラム教徒が1年に1度、1カ月間日中に断食を行うラマダンが終了した際にお祝いする行事です。ちょうど今ラマダン中で、今月末で終了し、ハリ・ラヤ・アイディル・フィットウリをお祝いする予定です。

中国系の人にとって重要なお祭りはチャイニーズニューイヤー、インド系の人にとって重要なお祭りはディーパバリです。ボルネオ島のサバ・サラワクにもお祭りがあります。サバ州では収穫祭カーマタンがあり、サラワク州の人々は収穫祭ガワイを祝います。

マレーシアには、「オープンハウス」という慣習があり、これは各民族のお祝いの日に、民族を問わず友人や近所の人を家に招いてご馳走を食べながら一緒にお祝いするというものです。例えば私はイスラム教徒ですが、ハリラヤの時に中国系の友人を家に招いて一緒に美味しいものを食べながらお祝いします。

**【マレーシア料理】** マレーシアには様々な美味しい料理があります。一番有名なのは、ナシ・レマです。ココナツミルクで炊いたご飯に、サンバルという辛いソースをつけ、きゅうり、ゆで卵、小魚、チキンのから揚げなどを添えて食べます。また、ハイナン・チキンライスも有名です。中国人の商人によってマラヤの地にもたらされました。ロティ・チャナイはインド系の料理で、通常チキンカレーをつけながら薄焼きパンを食べます。

有名な飲み物として、テー・タリというミルクティーがあります。これは、マレー語で「Pull Tea」という意味で、2 つのコップを手に持ち上から下に紅茶を移して作る様子が紅茶を引っ張っているように見えることから、この名前がつけました。そうすることにより、砂糖がよく混ざり、泡ができて美味しい紅茶になります。

2024 年、マレーシアのナシレマとロティ・チャナイ、テータリは、マレーシアの朝食文化として、ユネスコの無形文化遺産リストに登録されました。

【トロピカルフルーツ】 マレーシアには美味しいフルーツがたくさんあります。一番有名なのは、「フルーツの王様」と呼ばれるドリアンです。東南アジアには多くの種類のドリアンがありますが、マレーシアの「ムサンキング」という種類のドリアンは他のドリアンと一味違ってとっても美味しいです。中国やタイといった海外にも輸出されています。

【植物と動物】 マレーシアにいる動物は、テングザルやオランウータンが有名です。マレーシアの国花はハイビスカスです。ラフレシアという世界で一番大きなお花もマレーシアで見られます。ラフレシアは、芽が出てから花が咲くまでに 9 カ月かかりますが、一旦花が咲くと、5~7 日で枯れてしまいます。もしマレーシアでラフレシアを見ることができたら、その人はとってもラッキーということですよ。

【建築】 マレーシアには様々な美しい建築物があります。マレーシアは多宗教の国なので、イスラム教のモスクや仏教やヒンズー教の寺院、キリスト教の教会など、それぞれの宗教の礼拝の建物があります。

【高等教育】 マレーシアには大学が合計 92 校あり、海外の大学のマレーシア校も 10 校あります。日本の筑波大学が、日本の大学の海外分校として初めてマレーシアにキャンパスを開校しました。マレーシアには 130 以上の国から 12 万人を超える留学生が来ていますが、日本は、マレーシアへの留学生が多い国上位 10 か国に入っています。

【二国間関係】 今年の 1 月に日本の石破首相がマレーシアを訪問されました。就任以来初めての 2 か国外交の訪問地にマレーシアを選んで下さり光栄に思っています。

マレーシアと日本の外交関係は、マレーシアが独立を果たした 1957 年 8 月 31 日に樹立しました。同年 9 月にクアラルンプールに日本大使館が開設され、翌年 1 月に東京にマレーシア大使館が開設されました。

1982年に第4代首相のマハティール首相が「ルック・イースト政策」を始めました。これまでに約2万6千人のマレーシア人学生や政府職員が日本に留学し、日本の労働文化や経営、技術等を学んできました。

経済関係でも日本とマレーシアの結びつきは強いです。2024年、日本はマレーシアにとって第5位の貿易相手国でした。また、製造業では、プロジェクト数で日本は第4位の投資国でした。

今年マレーシアは東南アジア諸国連合（ASEAN）の議長国を務めますことから、日本とマレーシア間でのハイレベルの訪問が多く予定されています。また、来年2026年は「マレーシア観光年」ですので、皆様にぜひマレーシアを再び訪問して頂きたいと思います。